

ホームカミングメンバーは10月26日(日)に決定！今年もぜひお集まりください。

母校の大学院で学んでみませんか！

立教大学大学院 **ビジネスデザイン研究科**
21世紀社会デザイン研究科 **異文化コミュニケーション研究科**
独立研究科3科 **異文化コミュニケーション研究科**



松井 泰則 研究科長
 松井 泰則 独立研究科長

立教大学では学部基礎に置かない3つの独立研究科を設置しており、それぞれ後期課程も開設しています。そこではこれまでの学問領域に囚われない多様な複合的な領域の講義が展開されています。昼夜開講講座を採っており、夜間と土曜の履修が修了が可能で、社会人入学試験も実施していますので、校友の皆さんもぜひチャレンジしてください。

ビジネスデザイン研究科

社会や産業との連携がもつ意義を認識し、これに対応する教育・研究を通じて培われた

新赤レンガ募金通信

募金総額7億2千5百万円(含基金)に！

2004年1月からスタートした「新赤レンガ募金」は校友の皆様の熱いご支援のおかげで、早々に目標の6億5千万円を達成させていただいております。文学部や経済学部の百周年記念募金に協力をたまりまして、5月31日現在で7億2500万円になりました。紙面をお借りして、心より御礼申し上げます。

■募金速報(2008年5月31日現在)

法人	キャンパス整備		奨学金	
	金額	件数	金額	件数
校友法人	65,710,600円	35件	6,500,000円	2件
一般法人	113,292,464円	66件	136,650,000円	9件
小計	179,003,064円	101件	143,150,000円	11件
校友	56,295,305円	1,635件	12,369,600円	365件
教職員(含元教職員)	39,809,591円	513件	10,259,528円	213件
一般職志家	2,224,000円	34件	150,000円	6件
小計	98,328,896円	2,182件	22,779,128円	584件
小計	114,231,523円	126件	994,913円	21件
合計	391,563,483円	2,409件	166,924,041円	616件
総計(キャンパス整備+奨学金)	558,487,524円			
赤レンガ残額	166,619,426円			
総累計	725,106,950円			

問合せ先 立教大学院募金室
 0339853207
 bokin@grp.nikkyo.ac.jp

「知」を、再び社会や産業へ還元する事を使命として設置されました。ビジネスデザイン研究科では事業構想から事業計画の立案、実施、評価という一連のビジネスプロセスに関する高度な専門能力を育成するための教育プログラムを展開しています。1学年の学生数が90名と多く、皆さんにとっては人的ネットワークを形成する上で絶好の機会であると思えます。

21世紀社会デザイン研究科

NPO、NGOやボランティア活動をはじめ21世紀の新しい公共性を担う非営利組織、そしてローカルな場からグローバルな場に至るあらゆる組織と社会制度の危機管理、いま世界

異文化コミュニケーション研究科

自然及び世界の多様な文化の存在を「異文化」として認識し、相互に理解し合い、国際社会の発展に資する研究を目的に、設立されました。「異文化コミュニケーション研究科」は「異文化コミュニケーション研究」と「言語コミュニケーション研究」の2領域を核とし、文化とコミュニケーションの視点からだけでなく、世界的な問題意識が高まっている自然環境もひ

立教セカンドステージ大学授業の本格的展開

本年4月に開講した立教セカンドステージ大学では、本格的な授業が展開されています。前期の授業は全15科目ですが、受講生は非常に熱心で平均履修科目数は7科目、週3日程のペースでキャンパスに集い、授業の開始前は廊下に列が並ぶほどです。

入学金

本学卒業生からは入学金を徴収いたしません。(2008年度実績22万5千円)
 独立研究科進学相談会を11月29日(土)に実施いたします。詳細は11月に実施いたします。詳細は11月に実施いたします。詳細は11月に実施いたします。

立教セカンドステージ大学では、本格的な授業が展開されています。前期の授業は全15科目ですが、受講生は非常に熱心で平均履修科目数は7科目、週3日程のペースでキャンパスに集い、授業の開始前は廊下に列が並ぶほどです。



▲活発に意見が飛び交う授業

地域立教会を訪ねて 第10回 「会津立教会」

会津地方の政治経済文化の中心である会津若松市は、今もなお歴史ある町並みを残しています。市内には奥羽三楽郷の1つである東山温泉、白虎隊で有名な飯盛山があり、鶴ヶ城周辺には荒城の月碑がひっそりと建っています。また七日町から続く野口英世青春通りに別荘の街の雰囲気が漂います。城下町なので醸造業が盛んで、身不知柿(みしらすがき)という焼酎で洗抜きをした柿も名物です。また、ソースカツ丼の町おしも行なっています。

会津地方の政治経済文化の中心である会津若松市は、今もなお歴史ある町並みを残しています。市内には奥羽三楽郷の1つである東山温泉、白虎隊で有名な飯盛山があり、鶴ヶ城周辺には荒城の月碑がひっそりと建っています。また七日町から続く野口英世青春通りに別荘の街の雰囲気が漂います。城下町なので醸造業が盛んで、身不知柿(みしらすがき)という焼酎で洗抜きをした柿も名物です。また、ソースカツ丼の町おしも行なっています。

会津地方の政治経済文化の中心である会津若松市は、今もなお歴史ある町並みを残しています。市内には奥羽三楽郷の1つである東山温泉、白虎隊で有名な飯盛山があり、鶴ヶ城周辺には荒城の月碑がひっそりと建っています。また七日町から続く野口英世青春通りに別荘の街の雰囲気が漂います。城下町なので醸造業が盛んで、身不知柿(みしらすがき)という焼酎で洗抜きをした柿も名物です。また、ソースカツ丼の町おしも行なっています。

会津地方の政治経済文化の中心である会津若松市は、今もなお歴史ある町並みを残しています。市内には奥羽三楽郷の1つである東山温泉、白虎隊で有名な飯盛山があり、鶴ヶ城周辺には荒城の月碑がひっそりと建っています。また七日町から続く野口英世青春通りに別荘の街の雰囲気が漂います。城下町なので醸造業が盛んで、身不知柿(みしらすがき)という焼酎で洗抜きをした柿も名物です。また、ソースカツ丼の町おしも行なっています。

会津地方の政治経済文化の中心である会津若松市は、今もなお歴史ある町並みを残しています。市内には奥羽三楽郷の1つである東山温泉、白虎隊で有名な飯盛山があり、鶴ヶ城周辺には荒城の月碑がひっそりと建っています。また七日町から続く野口英世青春通りに別荘の街の雰囲気が漂います。城下町なので醸造業が盛んで、身不知柿(みしらすがき)という焼酎で洗抜きをした柿も名物です。また、ソースカツ丼の町おしも行なっています。



▲会津の名所「鶴ヶ城」

「今回はおいしいものを食べる会にしよう」とか、いろいろ工夫をして開催しています。

「会津っぽ」と呼ばれるこの地方の独特の「信念は曲げず」に貫く、気質がこの校友会活動にも活きていると思います。

「会津っぽ」という言葉は夏目漱石の「坊ちゃん」にも出てきますよ。

「会の雰囲気はいかがですか？」

「定例会でも必ず10名以上は出席し、楽しいお酒でとにかく盛り上げます。」「よく毎月やりますね」と聞かれますが、これが楽しいから毎月やっていますよ(笑)。クリスマスパーティーやもちつき大会の際はたくさんの方が参加します。また、創立25周年以降毎年必ず母校訪問ツアーを行なっています。六大学野球の応援ツアーも行なつたことあります。萬の絡まるキャンパスに足を踏み入れるだけで、ずっと学生時代に帰ることが出来ますね。」「ああ、いい学生生活を過ごしたな」と訪れるたびに思います。立教大学の周りのお店もずいぶん変わりましたけれど、訪問した際に「いつものお店」に寄ることも楽しみの一つですね(笑)。今年はその後、鶯谷や東京国立博物館、上野の散策もしました。

「10月にシンポジウムを開催されますね。」

5年ごとに講演会を行ってきましたが、もっともってとて立教の高校生に立教大学を知っていただきたいという思いから今回のシンポジウムの開催を考えました。地元の高校生にも宣伝して参加していただくことを思っています。



▲右より伊藤裕康幹事、横山満幹事、宮森泰弘会長、中島重治幹事

会津立教会は先に述べたように様々な会を開催しております。新入会員大歓迎です。卒業生は会津に戻ってきたら、ぜひこの会に連絡してください。お待ちしています。

立教大学会津シンポジウム
 10月12日(日)14時
 場所 ルネッサンス中の島
 講師 香山リカ現代心理学部教授、他、現役立教学生、高校生予定
 大学進学を目指す地元高校生とその保護者、そして学校関係者が主な対象です。大学で学ぶことの意味について様々な角度から考えるとともに立教大学を多くの方に知っていただくことを企画いたしました。どうぞご期待下さい。

詳細は後日立教大学、立教大学校友会ホームページをご覧ください。